

ボーダレスホームセキュリティシステム プレミアム

取扱説明書



ご使用前に、このマニュアルを良くお読み下さい。

改定:2012年1月版





型番:BHS-002

目 次

1. 基本セット内容	2
2. 本システムの特徴	2
3. 設定方法	3
4. 設置方法	7
5. 使用方法	10
6. 代表的な設置例	12
7. 追加センサー	12
8. 主な技術パラメータ	13
9. トラブルシューティング	14
10. 設定パラメータ一覧	15
11. 保証書	16

1. 基本セット内容



窓・ドアセンサー	空間センサー	リモコン	サイレン
			

・コントロールパネル:1台 ・窓ドアセンサー:1個 ・空間センサー:1個 ・リモコン:2個
 ・ACアダプター:1個 ・大音量サイレン:1個 ・電話線:1本 ・取扱説明書(保証書含む)

2. 本システムの特徴

- ① 悪意干渉防止機能が付いており、仮に同周波数無線で本システムに干渉した場合、コントロールパネルは警報を発します。
- ② リモコンでの警戒解除防止機能が付いています。これを利用するとリモコンでの警戒解除が無効になり、コントロールパネルでのみ警戒解除が出来ます。
- ③ コントロールパネルには、キーボードが付いています。
- ④ 無線センサー防衛区が32カ所(ディスプレイ1-32番)、有線センサー防衛区が7ヶ所(91-97番)あり、全てがコントロールパネル指示灯(1-32)を持ち、どのセンサーが感知したか一目で分かります。
- ⑤ それぞれの防衛区ごとに独立して、警戒パターンや警報延長時間などを設定できます。
- ⑥ 6つの通報先電話番号と3つの警報センター番号を登録出来ます。
- ⑦ 遠隔から電話を通して警報/警報解除/監視操作が出来ます。
- ⑧ ワンキー警戒機能が付いており、リモコンのボタンをひとつ押すだけで、外出警戒と在宅警戒の設定が可能です。
- ⑨ センサーが異常を感知すると警報が鳴り、同時に6組の通報先に繰り返し通報し、事前に録音したメッセージを流します。
- ⑩ センサーが故障又は、電池が少なくなったとき、指示灯が点灯して異常を知らせます。

⑪電話線が断線されると、警報を鳴らすことができます。

⑫バッテリー内蔵で、停電時も24時間作動します。

⑬警報は、通常の電話に対して優先されます。

《注意事項》

1. ペースメーカーなどの医療機器をご利用のお客様は、本製品をご使用になる前に、医師等へご確認の上、ご利用ください。

3. 設定方法

** 基本機能の設定方法 **

コントロールパネルは多くの機能を持っており、これらの操作はキーボードで数字と記号を入力して行います。設定状態への入り方は以下のとおりです。

・コントロールパネルでパスワード(初期設定:1234)を入力し、その後“Program”を押します。すると、“ピ、ピ”と2回音が聞こえ、“out”“home”が同時点灯し、設定状態へ入ったことを示します。この状態で各種設定指示が可能になります。

・“ピ、ピ、ピ、ピ”と4回音が鳴った場合は、パスワードが間違っていることを示します。この場合、再度パスワードを入力してください。

・設定状態から退出する場合は、“Return”ボタンを押します。また30秒操作しなかった場合もシステムが設定状態から自動的に退出させます。

継続して設定操作する場合は、再度パスワードを入力して、設定状態に入ります。

【注意】

・本システムの使用前に、本システムのバッテリーを満タンにする必要があります。さもないと、本システムの動作が安定しません。

・警報状態では、“Alarm”ランプが点灯します。

・外出警戒状態では、“Out”ランプが点灯します。このときセンサーが異常を感知すると、本システムは警報を発します。

・在宅警戒状態では、“Home”ランプが点灯します。このときセンサーが異常を感知すると、本システムは警報を発します。

・警報中に警戒を解除するには、コントロールパネルにパスワードを入力し、“Disarm”を押します。

・1つの設定指示が完了するごとに“ピ、ピ”と2回音がすると、設定が成功したことを示します。短く4回“ピピピピ”と鳴った場合は、操作指示がエラーになったことを示します。

(1) 警報メッセージの録音

設定状態にあることを確認し、“6”⇒“#”を押します。すぐに録音開始となります。

メッセージは10秒間録音できます。録音完了後、“ピ、ピ”と鳴り、録音状態から自動的に退出します。警報メッセージは簡潔に住所などを録音してください。録音したメッセージを聞く場合は、

“6”⇒“*”を押すと、接続した電話の受話器から録音した音声がかかります。

(2)各センサーの登録

センサーは、ユーザーが指定する防衛区に登録します。

防衛区とは：

お客様の都合で各センサーを1～32防衛区番号に設定する事が可能です。

例：玄関を“01”防衛区に、リビングに設置したい各センサーを“02”など好きな番号に設定

各無線センサーやリモコンはそれぞれ異なるIDを持っています。これをコントロールパネルに登録することで、使用可能になります。(初めからコントロールパネルと同梱されているセンサーはすでに登録してありますのですぐにご使用いただけます)

①登録方法(防衛区番号の設定)

必ず設定状態(パスワード+Programボタン)にある事をご確認してください！

“7”⇒“#”を押すと、警戒指示灯(OUT)が点灯します。このとき登録したいセンサーを感知させます。(下記各センサーの感知方法をご参照)“ピ、ピ”音が聞こえたら登録成功です。この場合、センサーは一番小さい数字の防衛区に登録されます。

もしその他の防衛区に登録したい場合は、“7”⇒“#”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“#”を入力します。すると対応する防衛区 LED が表示しますので、この時が登録状態に入ったことを示します。この状態で登録したいセンサーを感知させます。

3分間操作しないと自動的に登録状態から退出します。

本システムには、32 個の防衛区があり、ユーザーは、各センサーを好きな防衛区に登録できます。ユーザーは、コントロールパネルの画面でどこのセンサーが感知したかを知ることが出来ます。

※センサーの感知方法

(空間センサーは感知部に手をかざす、リモコンはどれかボタンを押す、窓・ドアセンサは、一度接触して離します。)

②登録状態からの退出方法

登録状態で、“Return”ボタンを押します。“ピ、ピ”音が聞こえ、登録状態から退出します。

③登録の削除

“7”⇒“*”を押すと、2回“ピ”音が聞こえます。これで、すべての登録情報が削除されます。

(3)通報先電話番号の設定

例：最初の通報先を 0312345678 に登録する場合

・パスワード(1234)⇒“Program”で設定状態に入ります。

・“3”⇒“1”⇒“*”⇒“0312345678”⇒“#”を押すと、“ピ、ピ”と鳴り、最初の番号の設定が成功したことを示します。

・プログラム状態に戻るには、“#”を押します。

2 番目の通報先は、“3”⇒“2”⇒“*”⇒“電話番号”⇒“#”

3 番目の通報先は、“3”⇒“3”⇒“*”⇒“電話番号”⇒“#”

4 番目の通報先は、“3”⇒“4”⇒ * ⇒ “電話番号” ⇒ “#”

5 番目の通報先は、“3”⇒“5”⇒ * ⇒ “電話番号” ⇒ “#”

6 番目の通報先は、“3”⇒“6”⇒ * ⇒ “電話番号” ⇒ “#”

数字ボタンを押す度にLEDパネルに押した数字が表示されます。

※登録した電話番号の削除方法

例:4番目の電話番号を削除する場合 “3”⇒“4”⇒ * ⇒ “#”

(4)パスワード変更

このパスワードは遠隔操作時にも利用します。

設定方法:設定状態で “10”⇒*⇒“4桁のパスワード”⇒“#”

ユーザーは必ずこのパスワードの設定を行ってください。

** 特殊機能の設定方法 **

(5)防衛区類型設定

これは、センサーの場所と機能を設定します。個々の防衛区に異なる防衛区類型を設定できます。ここを設定しない場合は、全ての防衛区が初期設定の即時防衛区になります。

設定方法:設定状態で、“*”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“2”⇒“X”⇒“#”

Xのところには、代表的な防衛区類型として以下の項目から選択します。

1ー即時防衛区(異常を探知したらすぐ警報を発します)

2ー遅れ防衛区(異常を探知したら30秒後に警報を発します)

3ー緊急防衛区(警戒/解除状態にかかわらず、センサーが探知すると警報を発します)

5ー在宅防衛区(在宅警戒時には作動しません) 自宅の一部或いは全部のセンサーを在宅防衛区に設定する事が可能です。

0ー停止防衛区(センサーは動作しません)

例:第2防衛区を在宅防衛区に設定する場合

“*”⇒“02”⇒“2”⇒“5”⇒“#”

※注:防衛区類型設定は、防衛区 1-8 のみ設定可能です。その他の防衛区は即時防衛区になります

※参考:通常、ドアや窓、ベランダなどの位置のセンサーは“即時防衛区”に設定します。これらは、どの警戒パターンでも作動します。室内などに設置する空間センサーは、“在宅防衛区”に設定します。玄関扉に設置する窓・ドアセンサーなどは“遅れ防衛区”に登録します。帰宅時に誤ってセンサーを作動したときやリモコンを持って外出しなかったときなど、30秒以内にパスワードを入力して警戒を解除できます。

(6)防衛区提示音の設定

防衛区の提示音を許可した場合、警戒解除状態でセンサーが感知すると、“ピ、ピ、ピ”と音が3回鳴ります。通常、玄関扉や門扉に提示音を使います。それらの扉が開くとユーザーが警戒をすることが出

来、誰かがこっそり外出・侵入するのが分かります。

設定方法:

この機能を“ON”にする場合: **設定状態**で “*”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“71”⇒“#”

“OFF”する場合: **設定状態**で “*”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“70”⇒“#”

(7) 悪意干渉防止機能の設定

この項目を許可すると、悪意を持った人が警戒時に本システムと同じ周波数で無線干渉した場合、警報を発します。通報は行いません。

設定方法:

この機能を“ON”にする場合: **設定状態**で⇒“17”⇒*“⇒”1“⇒”#“

“OFF”する場合: **設定状態**で⇒“17”⇒*“⇒”0“⇒”#“

(8) リモコンによる解除機能の設定

この機能は、悪意を持った人がリモコンのコードを盗み、それで本システムを遠隔から警戒解除する危険を防止する物です。これを設定すると警戒解除は、コントロールパネルでのみ行えます。(コントロールパネルでの警戒解除方法:パスワード4桁⇒解除ボタン)。

設定方法:

この機能を“ON”にする場合: **設定状態** “18”⇒*“⇒”1“⇒”#“

“OFF”する場合: **設定状態**で “18”⇒*“⇒”0“⇒”#“

注意:この機能を“ON”にした場合は、リモコンで警戒設定ができるが、解除できません。

(9) 電話線故障警報の設定

本システムは、電話線に障害又は断線があったとき、警報するかを選択できます。

警報した場合は、外出警戒時はサイレンが30秒鳴り、在宅警戒時と警戒解除時は、

10秒ごとに“ピ、ピ、ピ”と3回音が鳴ります。

設定方法:この機能を“ON”にする場合: **設定状態** :“22”⇒“*”⇒“1”⇒“#”

“OFF”する場合: **設定状態** : “22”⇒“*”⇒“0”⇒“#”

(10) 遠隔操作時の呼鈴回数設定

本システムは、遠隔操作機能を持っていますが、遠隔操作をする場合外部からコントロールパネルが接続している電話に電話を掛けます。このとき、何回電話がコールしたらコントロールパネルに繋がるかを設定することが出来ます。

設定方法: **設定状態** “12”⇒“*”⇒“XX”⇒“#”

※XX:00-12の範囲で設定。00を入力すると遠隔操作が禁止され、異常が発生した場合も外部へ通報できません。

(11)サイレン鳴動時間の設定

本システムは、警報時にサイレンの鳴る時間を分単位で任意に設定できます。

設定方法: **設定状態**: “29”⇒“*”⇒“XX”⇒“#”

※XX:00-30 の範囲で設定。単位は分。

(12)警戒/警戒解除設定時のサイレン鳴動の設定

本システムは、初期設定で警戒設定/警戒解除時に“ビー”とサイレンが1回鳴るよう設定されています。この設定をオフにする場合は、下記の操作を行います。

設定方法: この機能を“ON”にする場合: **設定状態** : “8”⇒“#”

“OFF”する場合: **設定状態** : “8”⇒“*”

(13) 設定の初期化

システムの設定を工場出荷状態に戻します。リセットされるのは、登録情報や設定情報、パスワードです。

設定状態に入り下記の操作を行います。

設定方法: “**設定状態**で “0000”⇒“#”

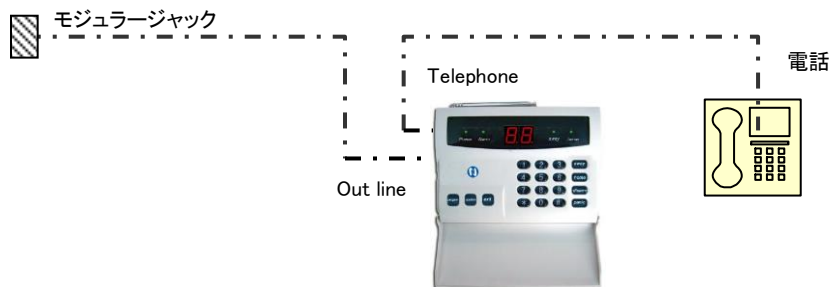
4. 設置方法

注意: まず各センサーの登録を行ってから、設置を行ってください。

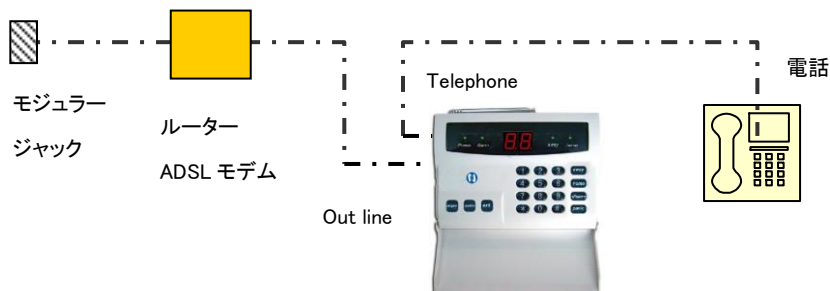
(1)コントロールパネルの設置

- ①コントロールパネルとお使いの電話を接続します。まず付属の電話線で、お使いの電話器とコントロールパネル側面の“telephone”を接続します。壁のモジュージャックからの電話線を”out line”に接続します。電話とコントロールパネルは必ず接続してください。電話は通常通り使用できます。
- ②付属のサイレンを “siren”へ接続します。
- ③付属のACアダプターを “power”へ接続し、電源をコンセントに挿します。


◀一般電話回線の場合▶



《ひかり回線及び ADSL の場合》



側面のスイッチを ON にするとコントロールパネルは、1 回“ピー”と鳴り、コントロールパネルが正常に動作していることを示します。その後、ユーザーが通報先電話番号の登録をしないと、30 秒ごとに“ピー、ピー、ピー”と音が鳴ります。これは設定忘れを防ぐための機能で、通報先番号を設定するとこの音は止まります。

リモコンの解除ボタン (disarm)  を押すと、コントロールパネルは警戒解除状態になります。その後センサーの登録を行います。

各機能ランプの状態

- ・外出警戒モード：“OUT”ランプが ON
- ・在宅警戒モード：“HOME”ランプが ON
- ・警戒解除モード：“HOME”“OUT”ランプが点いていない。
- ・設定モード：“HOME”“OUT”ランプが点灯。
- ・警報モード：“ALARM”ランプが ON

※注意事項：

- ①最も広く無線受信距離が得られるよう、コントロールパネルは、警戒範囲の真ん中に設置してください。また、電源コンセントと電話線の近くに設置してください。
- ②コントロールパネルは、大きな金属体から離して設置してください。さもないと無線の受信距離が短くなる場合があります。
- ③電話線との接続は、電話線の一番前(モジュラージャックに近い方)と接続します。ADSL セパレータをご利用の場合はセパレータの出口と接続します。
- ④コントロールパネルは、出来るだけ目に付かない場所に設置してください。

(2)窓・ドアセンサーの設置

内蔵のマグネットが、窓やドアの開閉に反応します。マグネット部と送信器を別々にドアとドアフレームに付属の両面テープで貼ります。(確実に固定する場合は、木ねじでの固定をお勧めいたします)

- ・通常マグネット部を開閉する側、送信器を固定側に設置します。
- ・マグネット部は、送信器のランプの近くに並べて固定します。

磁石と送信器の間隔は 10mm 以下にしてください。

- ・最適の送信状態を得るためにアンテナを引き出してください。
- ・表示灯が点灯している場合は、電池容量が低くなったのを示します。この場合、速やかに電池を交換してください。
- ・オプションでマグネット部を薄型マグネットに変更することが可能です。



マグネット



送信器



電池交換

(3) 空間センサーの設置

空間センサーは、人体の動きを感知します。通常、壁の高さ 2.0-2.2m に設置します。正面を警戒ゾーンへ向け、角度を調整してください。


【注意】



- ・空間センサーは、縦の動きよりも人の横の動きにより敏感に反応します。そのため、探知器を人の動きに対して垂直に設置した方が良いでしょう。
- ・窓やエアコン、かまどや日光があたり温度が変化するとこへは、誤報を避けるために向けないでください。
- ・探知エリアに大きい障害物を置かないで下さい。
- ・空間センサーの赤いランプが点灯したときは、電池切れを表します。その場合出来るだけ早く電池を交換してください。
- ・設置のときは、落としたりしないよう十分に注意してください。




5. 使用方法

(1) 外出警戒


リモコンの  ボタン 或いはコントロールパネルの”OUT“ボタンを2秒長押しすると、LEDが点滅し、30秒後に”ピー“と鳴って、外出警戒状態に入ります。

また、リモコンの  ボタンを押した後、すぐに  ボタンを押すと、本システムはすぐに外出警戒状態に入ります。


(2) 在宅警戒

リモコンの  ボタンを押す、或いはコントロールパネルの”HOME“ボタンを2秒長押しすると、“ピー”という音が聞こえて”HOME”指示灯が点灯し、在宅警戒状態に入ります。この状態では、在宅防衛区に登録したセンサーは作動しません。

(3) 警戒解除

リモコンの  ボタンを押す、或いはコントロールパネルで”パスワード”⇒”DISARM“ボタンを押すと警戒解除されます。

(4) 緊急警報

緊急時には、リモコンの  ボタンを押す、或いはコントロールパネル上の”Emergency”ボタンを押すと、システムは緊急警報を発します。LED状態指示灯にはリモコンに登録した防衛区番号が表示されます。

注意:警戒解除(DISARM)や次の操作を行う前に、10秒待ち時間が必要です。これは、再度システムが有効になるために必要な時間です。

(5) 警報発生と通報受信処理

警報が発生すると、サイレンが鳴り、コントロールパネルでは警報指示灯が点灯し、対応する防衛区番号が表示されます。同時に本システムに登録された電話番号へ自動的に繰り返し通報します。ユーザーが通報を受けると、録音メッセージが流れます。この後下記のような遠隔操作が可能になります。

“*”を押す:30秒現場の音声を聞きます。

“#”を押す:コントロールパネルは警報を停止します。

※“#”ボタンが押されなかった場合、本システムは、次の通報先へ繰り返し通報します。

通報電話に3回出なかった場合は、通報が自動に停止となります。

(6) 遠隔操作

ユーザーは、遠隔地からコントロールパネルが接続した電話に電話をかけると、設定した呼び出し回数(初期設定は8回)の後、コントロールパネルに接続します。

この時、パスワード(1234)⇒“#”を入力します。パスワードが間違っている場合、“ピ、ピ、ピ、ピ”と4回音が聞こえます。パスワードが正しければ、“ピ、ピ”と2回音が聞こえます。その後、下記のような遠隔操作が可能になります。

“1”を押す:警戒設定

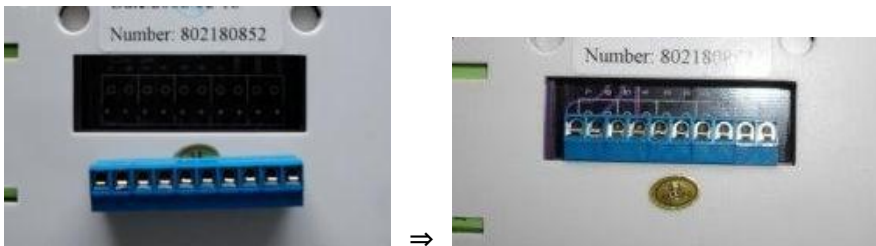
“2”を押す:警戒解除

“*”を押す:現場の音声を30秒聞く

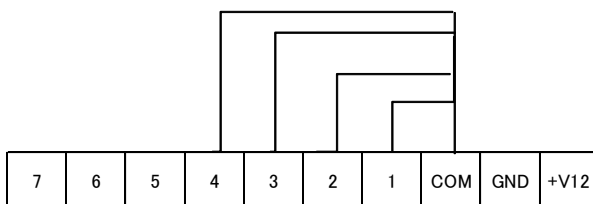
“#”を押す:退出します。

注:パスワードの入力を3回間違うか、20秒間何も操作されなかった場合は、自動的に通信が切断されます

(7) 外付け有線センサーの使用方法



出荷時はコネクタと本体は別々となっており、線を繋いだ後に本体に取り付けてください。

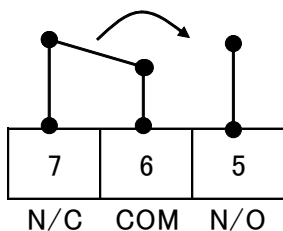


- ・有線コネクタには、+12V, GND, COM, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 というコネクタがあります。
- ・12V と GND には、電源と接続します。COM は共有ポートです。

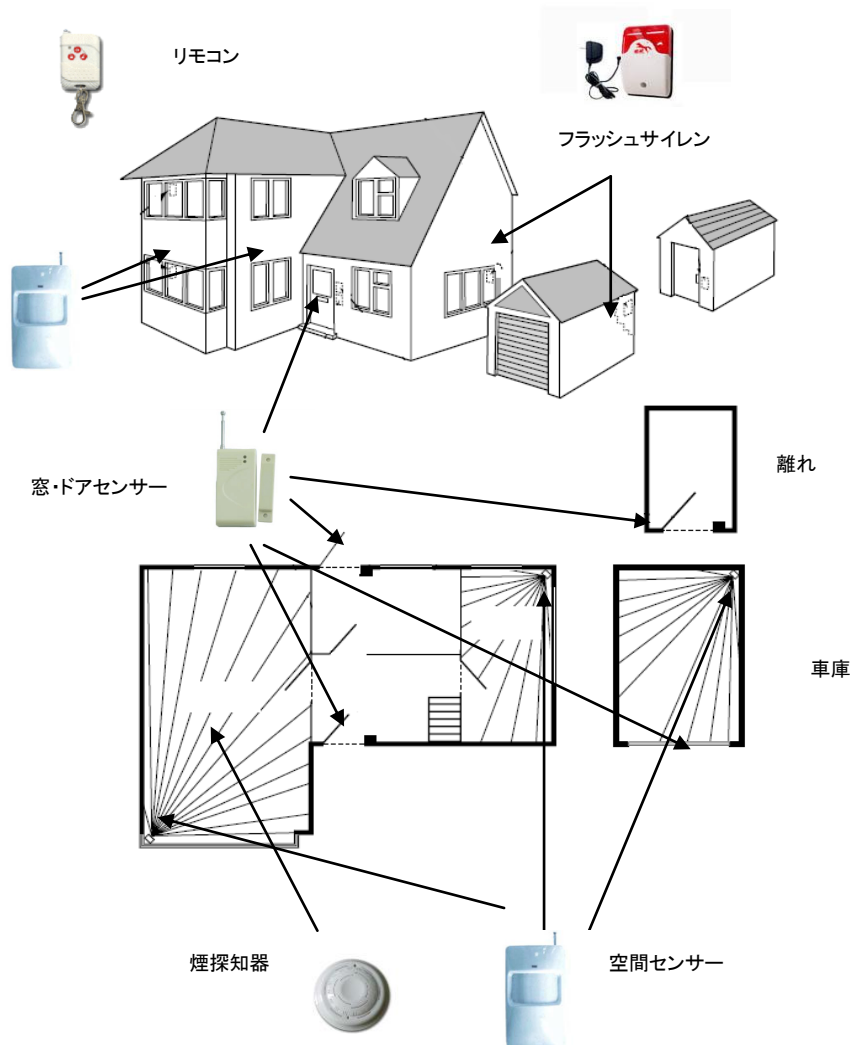
有線センサーを使うときは、有線センサーの一方ケーブルを COM、他方を 1,2,3,4 のどれかに接続します。センサーは、N/C(常時閉)のセンサーをご使用ください。有線センサーの電源が 12V の場合、この 12V ポートから電源をとることができます。それ以外の電圧の場合は、外部電源をご使用ください。

(8) 警報出力の使用方法

有線コネクタの 5, 6, 7 が警報出力のコネクタです。6が COM、5が N/C(常時閉)、7が N/O(常時開)となります。携帯接続ユニットと使用する場合は、6・7 端子を無電圧接点に接続してください。



6. 代表的な設置例



7. 追加センサー

システムの必要に応じて、下記センサーを追加することができます。



8. 技術パラメータ

(1)コントロールパネル

- ・電源:DC 12V(バッテリー内蔵) ・静態電流:50mA 以下 ・無線周波数:315MHz±0.5MHz
- ・外付けサイレン音量:110dB ・動作環境:温度 -10°C～+40°C、湿度 90%以下
- ・無線センサー最大登録数:32 個

(2)窓・ドアセンサー

- ・電源:DC12V ・静態電流:20 μ A 以下 ・発射周波数:315MHz±0.5MHz
- ・無線有効距離:障害が無い状態で 20m ・マグネット作動距離:最大 15mm
- ・動作環境:温度 -10°C～+40°C、湿度 90%以下


(3)空間センサー

- ・電源:DC9V ・静態電流:100 μ A 以下 ・発射周波数:315MHz±0.5MHz
- ・無線有効距離:障害が無い状態で 20m ・探知可能速度:0.3-3m/s
- ・探知角度:水平 110° 垂直 60° ・探知距離:5-12M
- ・動作環境:温度 -10°C～+40°C、湿度 90%以下

(4)リモコン

- ・電源:DC12V ・静態電流:0 ・発射周波数:315MHz±0.5MHz
- ・無線有効距離:障害が無い状態で 20m ・動作環境:温度 -10°C～+40°C、湿度 90%以下

9. トラブルシューティング

現象	考えられる原因	解決方法
通報できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防衛区が設定されていない 2. 防衛区設定後、1分経過していない 3. 通報先電話番号の設定が間違っている 4. 窓・ドアセンサーの送信器と磁石の距離が離れすぎている 5. 空間センサーのスイッチが入っていない 6. センサーが登録されていない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防衛区を設定する。 2. 1分経過してから操作する 3. 取扱説明書に従い、再度通報先電話番号を登録する 4. 窓・ドアセンサーを調整する 5. 空間センサーのスイッチを入れる 6. センサーを登録する。
警報時に通報しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号の登録が間違っている 2. 電話線に問題がある 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号を再度設定する 2. 電話線を確認する
リモコン操作距離が近いのに指示灯が暗い	電池切れ	電池を交換する
窓・ドアセンサーと空間センサーの指示灯が常時点灯	電池切れ	電池を交換する
遠隔での警戒/警戒解除操作が出来ない	<ol style="list-style-type: none"> 1. パスワードが間違っている 2. 遠隔操作が禁止されている 	<ol style="list-style-type: none"> 1. パスワードを設定しなおす 2. 遠隔操作を許可する
警報メッセージ再生中に * ボタンを押しても現場の音声が聞けない。	メッセージ録音音量が大きすぎる	録音音量を調整する。
リモコンで警戒解除が出来ない	解除機能が無効になっている	解除機能を許可する 設定状態で18⇒*⇒0⇒#
コントロールパネルが警報信号や遠隔操作信号を受信しない	センサーが登録されていない。	センサーの登録を確認する
警戒解除をしても警報が止まらない。	通報先電話番号が登録されていない。	通報先電話番号を最低1件登録する。
警戒/解除などをする度にサイレンが鳴る。	警戒/警戒解除設定時にサイレン鳴動が設定されている(初期設定)	P8を参照し、サイレン鳴動の設定をオフにする。
誤動作を停止する	—	リモコンの解除  ボタンを押す
防衛区番号を消す場合	—	外出警戒か在宅警戒設定ボタンを押し、解除ボタンを押すと、数字が消えます。

10. 設定パラメーター一覧表

下記全ての設定は設定状態(4桁パスワード⇒Programボタンを押し、“home”“out”ランプが同時点灯されている状態)に入ってから、行ってください。

内 容	指 示	パラメータの説明	初期値
メッセージ録音	6#		なし
メッセージ再生	6*		
センサー登録	7#XX#	XX=2桁防衛区番号(01~32)	01
センサー削除	7*XX#	XX=2桁防衛区番号(01~32)	
通報先電話番号1	31*電話番号#		
通報先電話番号2	32*電話番号#		
通報先電話番号3	33*電話番号#		
通報先電話番号4	34*電話番号#		
通報先電話番号5	35*電話番号#		
通報先電話番号6	36*電話番号#		
通報センター番号1	38*電話番号#		
通報センター番号1	39*電話番号#		
パスワード	10*暗証番号#		1234
防衛区類型	*防衛区番号2X#	X=1:即時、2:遅れ、3:緊急、5:在宅、0:停止	即時
防衛区警報	*防衛区番号7X#	X= 1:ON、0:OFF	禁止
悪意干渉防止	17*X#	X= 1:ON、0:OFF	許可
リモコン解除機能	18*X#	X= 1:ON、0:OFF	禁止
電話線故障警報	22*X#	X= 1:ON、0:OFF	許可
遠隔呼鈴回数	12*XX#	XX=範囲 00-12、00 遠隔操作禁止	08
サイレン鳴動時間	29*XX#	XX=範囲 00-30 分	01
警戒時のサイレン	ON:8#、OFF:8*		ON
ユーザーID	11*4桁数字#		0001
リセット	0000#		
防衛区提示音	*防衛区番号XX#	XX=71 ON XX=70 OFF	OFF

11.保証書

〔保証規定〕

1. 本製品が万一自然故障した場合は、保証規定により1年間無料修理いたします。
なお、弊社まで送付される場合の送料及び諸掛りはお客様にご負担願います。
2. 保証期間開始日は、弊社より発送した日とします。
3. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
 - (1) 使用上の誤り(取扱説明書以外の誤操作等)により生じた故障。
 - (2) お客様ご自身による修理、改造、分解等による故障
 - (3) 火災、天災、地震、落雷、異常電圧当による故障。
 - (4) 浸水、落下、泥、砂等により生じた故障。
 - (5) 保管上の不備や、手入れの不備による故障。
 - (6) 本保証書の添付が無い場合。
 - (7) 故障の原因が本製品以外の部分である場合、またはその他の機器(例えば電源等)によって生じた修理。
 - (8) 消耗部品の損耗交換の場合の部品代および付属品類。
 - (9) 電池などの消耗に起因する故障
 - (10) 海外で使用した場合の故障
4. 本製品は、盗難の防止を保証するものではありません。そのため本製品の故障または使用によって生じた直接及び間接の損害について弊社は一切の責任を負いません。

〔ご注意〕

1. 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間経過後の修理についてはお客様にご負担いただきます。

〔保証書取扱上のご注意〕

1. 本保証書は、紛失されましても再発行いたしませんので大切に保管してください。
2. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

《販売店》

株式会社ポーダレス TEL:03-5662-0787
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 4-54-16 401

《販売日》

《型番》BHS-002

《お客様情報》

・ご住所:

・電話番号: